

えほんとほいく 3



全員！ポストカードプレゼント！

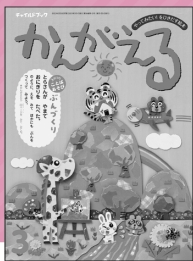
左の二次元コードからアンケートにお答えいただくとポストカード2枚セットをプレゼントいたします！（応募締め切り 2023年4月30日）

総合保育絵本の
活用のヒントを
動画で紹介！

チャイルドブックをもっと楽しむ
読み方・使い方 
POINT 



ぜひ、こちらから動画をご覧ください。



チャイルドブック

かながえる

指導 / 木部秀子
〔はいくえほん〕研究会

わくわく しゃかい クイズ
(1～11ページ)

みらいの のりもの しゅっぱつ!

はじめに、未来の乗り物について想像を膨らませましょう。

どんな乗り物があつたら おもしろいと思う？

先生はね… パンでできた車が あつたらいいな。

※はじめに保育者が 例を出す 想像しやすい でしょう。

バスが 空飛んだら 楽しそう!

中が全部おふとん になってる電車!

それから、

絵本にも、新しく おもしろい乗り物が たくさん出てくるよ!

と、絵本を開きます。

会話を楽しみながら読んでいきます。

乗れるロボットがあるんだって。

顔が変わるの？

かわいい! 乗ってみたい。

空飛ぶオートバイがあるんだ!

このソーラーカー、かっこいいな。

クイズを楽しんだら、絵本を配って、写真をじっくり見られるようにするとよいですね。

読み終わったら、自由な発想で乗り物を作ってみましょう。

クラスで乗って遊べる大きな乗り物を作ってもよいでしょう。

また、それぞれに乗ってみたい乗り物の絵を描いたり 工作をしたりして飾ってもよいですね。

花いっぱいにするんだ。

羽根を付けたいな。

座席作ったよ!

連結ロケットできた!

全部ふわふわになってる車だよ。

大きな積み木や段ボール箱などを組み合わせる。

● 科学技術はどんどん進歩しています。より便利な暮らしや、環境保護のことを考えた技術について知ること、未来ある子どもたちの生活に夢と希望をもたせることができたらよいですね。

ことばで あそぼう!
(28～29ページ)

どこで だれが なにをした?

読む
まえに

楽しく文作りに触れ、興味につなげましょう。

しかけ遊びでできた文を声に出して楽しめます。おもしろい文章は笑いになるでしょう。楽しいと子どもは夢中になり、人にも伝えたいくなります。考えることも楽しくなるでしょう。

読む
ときに

文作りのしくみやおもしろさを伝えましょう。



まずは絵本を配り、みんなで声に出して読んでみましょう。そのときに、はじめに保育者が「どこで?」と問い、子どもが「まちで」などと答える読み方で読んでみると文作りのしくみがわかりやすいですね。それから保育者がしかけを折って文作りのおもしろさを知らせ、自由に楽しむ時間を作りましょう。おもしろい文章ができたならみんなの前で発表してもよいですね。

読んだ
あとに

さらにいろいろな文章を作って遊んでみましょう。



慣れてきたら表紙の絵を見て、どんな文が作れるか考えてみましょう。また、「どこで」「だれが」「なにをした」をそれぞれ考えて紙に書き、別々の箱か封筒に入れて、一枚ずつ引いたものを組み合わせて文章を作って楽しんでよいですね。「どこで」「だれが」「なにをした」は、記入用紙や入れる箱を色分けしておくとうわかりやすいでしょう。

1年間の最後に「かながえる」12冊を並べて、裏表紙の迷路をつなげて楽しんだり、園生活の思い出を振り返るきっかけにしたりするとよいですね。



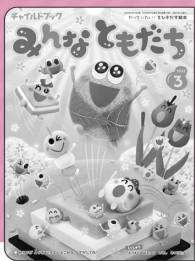
チャイルド本社のホームページに「かながえる」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は16ページへ



チャイルドブック

みんなともだち

指導 / 柴宮佑介
(Kids Island うちがしま)

きみなら どうする？
(15～18 ページ)

いいところ みっけ！

読む前に…

この一年で、なにが楽しかった？

運動会楽しかった！

水遊びも楽しかったね～。

先生はこの一年で編み物ができるようにになったよ。みんなはできるようにになったことあるかな？

なわとび！

鉄棒で前回りができるようになったよ！

絵本を読みます。

あきちゃんも前回りができるようになったんだね。

すごいね！

ぼくと同じだね。

みんなも、あきちゃんやはるくんみたいに、お友達のいいところを言ってみよう。

さきちゃんはどうも優しいよね。

ありがとう！

巻末の「ともだちメダル」を作り、子ども同士でメダルの渡し合いをするとうれしいですね。

ともくんは、なわとびがじょうずにできるようになったね。メダルをどうぞ！！

ありがとう！

踏み台などを用意して表彰式の雰囲気を出すと、より盛り上がると思います。

● 人の長所を見出す習慣は、大切なことだと思います。よいところを言ってもらえると嬉しいですし、自信にもつながりますね。がんばった子たちに先生から渡したり、友達同士でメダルを渡し合いながら讃え合ったりできるとすてきですね。

たべたいな！ しりたいな！ 食育
(12～14 ページ)

いろの ひみつはね…

読む
まえに

ひな祭りを話題にしましょう。



「もうすぐひな祭りだね」「おひなさまを見た？」などと声をかけ、ひな祭りの話題を広げましょう。「ひな祭りに食べる物を知っている？」などと問いかけ、みんなで考えてみましょう。なかなか解答が出てこないときは表紙を見せながら「これはなにかな？」「ころころしたお菓子がああるよ」などと声をかけると、子どもたちから声が出やすくなると思います。

読む
ときに

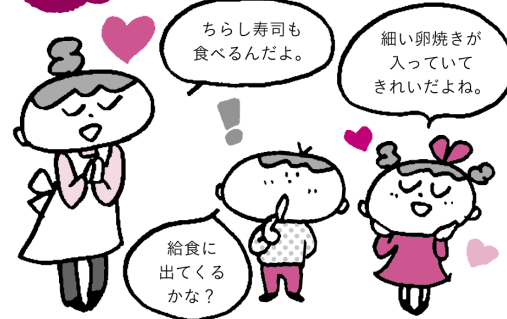
理由をみんなで考えてみましょう。



12ページの「どうしてひし餅やひなあられはいろんな色をしているのかな？」という質問から、理由を考えてみましょう。自由な意見を聞いたあとに「ピンクは春の季節にあるものだよ」とヒントを出したり、「冬に白いものといえば？」などと問いかけてみたりしてもよいでしょう。

読んだ
あとに

ひな祭りの他の行事食や由来に興味を広げましょう。



色の秘密を理解したら、ちらし寿司やまぐりのお吸い物など、他の行事食の話題に広げると子どもたちの興味が高まると思います。また2月号の行事コーナーを見せながら、ひな祭りには「女の子が元気に育つことを願ってひな人形を飾るんだよ」「昔は紙でできた人形を川に流していたんだよ」などと改めて由来を伝えてもよいでしょう。



チャイルド本社のホームページに「みんなともだち」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は17ページへ



チャイルドブック ジュニア

指導 / 水野絵里
〔「はいくえほん」研究会〕

しぜん
(2～7ページ)

たんぽぽ みつけたよ！



■ たんぽぽなどの草花や虫を見つけたり、太陽の暖かさを感じたりしながら、子どもたちといっしょに春の訪れを喜びましょう。

せいかつ
(24～29ページ)

1ねんかんの おもいで

読む
まえに

巻末のメダルにリボンをつけて、準備をしましょう。



巻末にメダルがあります。あらかじめ切り取り、リボンなどを付けてメダルを作っておきましょう。また、「きょうはプリンちゃんが一年間の思い出を教えてくださいらだっ！」と伝え、手踊り人形のプリンちゃんとのやりとりを楽しんでから話を進めていきましょう。

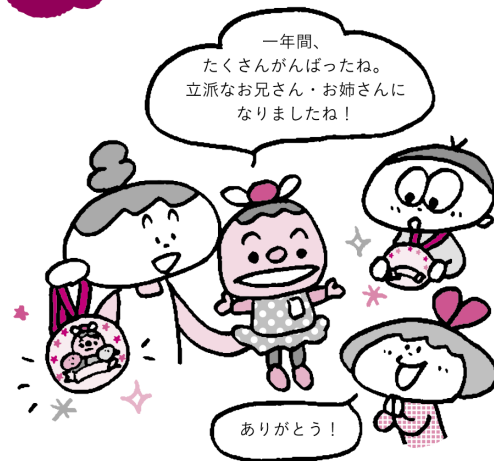
読む
ときに

プリンちゃんたちのがんばったことをみんなでほめましょう。

プリンちゃんたちのがんばりやできるようになったことをみんなでほめてあげましょう。そして、子どもたちにも一年間でできるようになったことを発表してもらいましょう。子どもたちのエピソードを保育者や友達と認め合うことで、がんばりを実感し、自信につながれるとよいですね。

読んだ
あとに

メダルをプレゼントしましょう。



「プリンちゃんから、みんなにプレゼントがあるよ」とメダルを見せ、一年間のがんばりと子どもたちの成長をお祝いしながら渡しましょう。たくさんの方ができるようになり、立派なお兄さん・お姉さんになったことを子どもたちに伝えると期待をもって進級できることと思います。

▶ チャイルド本社のホームページに「ジュニア」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社 検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は18ページへ



チャイルドブック

指導 / 瀬川未佳
〔「はいくえほん」研究会〕

うたの えほん
(2～5 ページ)

うれしい ひなまつり

絵本を開く前に会話を楽しみましょう。

みんな、おひなさまって知っているかな？

知ってるー！

なにを着ているかな？

着物！

おひなさまの周りにはなにがあるかな？

お花が飾ってあるよ。

会話を楽しんだら2ページを見せ、一つひとつ、飾りなどを指さして確認します。

これはね、扇っていうの。

こっちは、ぼんぼり。

半分は折って2ページだけ見えるように持ちます。

最初は読み始め、5ページでは動物たちの様子をじっくり見ながら、うたいましょう。

はっぱの冠だね。

お花の髪飾りをしているよ。

かわいいー！

続けて6～7ページのシールを楽しみます。絵本を揺らして、飛んでいる雰囲気を出してからシールを配りましょう。

わあ、ぼんぼりが飛んでるよ。ふわあり、ふわあり…

次の日、手踊り人形のごりくんに、千代紙の着物を着せ、色紙で作った冠やしゃくを飾って、絵本と一っしょに置いておくのもよいですね。

● 園にひな人形が飾ってあれば、2ページの絵を見て着物や飾りを確認するかわりに、実物をゆっくり観察してみてもよいですね。

おはなし
(8～19 ページ)

はるのマジックショー

読んだあとに

当てっこクイズを楽しみましょう。



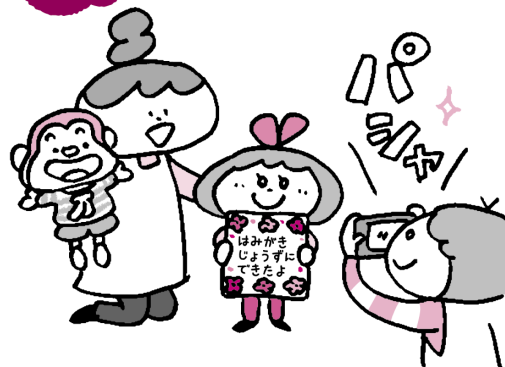
読み終わったら、もう一度、最初からめくって、春に出てくる、かえるやてんとうむし、ちょうちょうなどを確認しましょう。「春になると、出てくる生き物だよ」などと会話を楽しみましょう。そのあと、「1、2、3！」でスカーフや大きめのハンカチをめくるクイズを楽しみましょう。室内にある物を隠して、ヒントを出します。例えば「黄色い物だよ」「みんなの頭の上ののせる物だよ」などのヒントを出して、「じゃあ、みんなもいっしょに言ってね、1、2、3！」と言って開きます。慣れてきたら、子どもたちにもやらせましょう。シーツなどの大きな布で、同じようになにかを隠して遊んでもよいですね。子どもたちが隠れて、出てきても楽しいですよ。

せいかつ
(22～30 ページ)

おおきくなったよ！

読んだあとに

できるようになったことを写真に残しましょう。



「ごりくん、他にはどんなことができるようになったんだっけ？」と4月号から2月号までのぶろを出して、確認するとよいでしょう。そのあと、自分ができるようになったことを、一人一つずつ決めてもらい、保育者が色紙に書きます。その周りに子どもたちが絵を描いたり、折り紙を貼ったりして装飾します。できあがったら、それを持って写真を撮りましょう。保育者とごりくんといっしょに写るととてもよい記念になりますね。

▶ チャイルドブックのホームページに「ぶろ」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社 検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は19ページへ



サンチャイルド ビッグサイエンス

『びっくり せかいりょう
ちきゅうの ちから』

指導／瀬川未佳
（「ほいくえほん」研究会）

保育で絵本を楽しむコツ

今月は地球の力が感じられるダイナミックな写真で構成された一冊です。こんな場所あるの!? と驚くことでしょう。探検隊になった気持ちでいろいろな場所をクラスのみんなで探検してみましょう。ペープサートをひとつ用意するだけで臨場感が出ます。

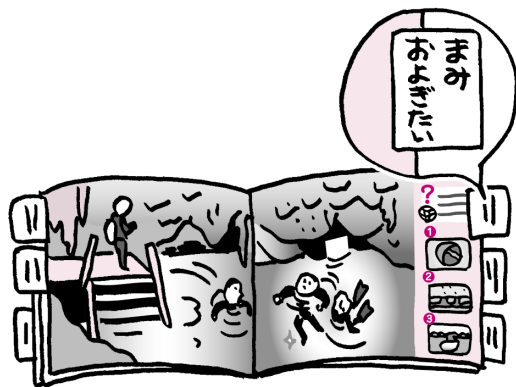
ペープサートで世界旅行!

クラスのみんなで世界を旅してみましょ。飛行機のペープサートを作って、絵本の中の地形に沿って動かします。「ぞう組さん号出発!」などと声かけをし、間欠泉で噴き出す水に合わせて飛行機を動かしたり、渦潮のところど渦に飲み込まれてしまうような動作をしたりすると、盛り上がりがあります。火山の場面では「あつーい!」、湖の場面では「きれーい!」などと子どもの想像力をかきたてる声かけをしましょう。



みんなの行きたいところは?

ひととおり絵本を読み終わったら、「みんなはどこに行きたいと思った?」「どうしてそう思うの?」と聞いてみましょう。ふせんを用意し、それを名前といっしょに書き出して、絵本にインデックスのように貼ります。「本物の火山を見たい!」「セノーテで泳いでみたい!」などと、話が膨らむとよいですね。ふせんを貼った絵本は、子どもたちや保護者が自由に見られる場所に置いておきましょう。改めて読むと、他の子がどう考えているのかもわかり、おもしろいと思います。



作者インタビュー



Photo Y.Tanioka

村上康成先生

おはなしチャイルド3月号
『くまくんです。』
作/村上康成

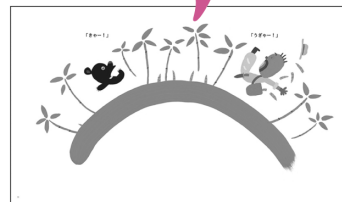


おはなしチャイルドでは久しぶりの作絵作品ですが、お話を作られたきっかけを教えてください。本誌の「作者のことは」にも書きましたが、夏の溪流で釣りをしていたときに、ツキノワグマの子熊にバッタリ出会った体験がきっかけですね。親別れしたばかりなのか、きっとお腹がすいていたんでしょね。食べ物を探していたら、突然人がいたのでびっくりして、草むらの向こうで固まっちゃったんです。クリクリの目と大きい耳が印象的で、慌てて森の中に踵を返して消えていった子熊の姿が、なんだか愛おしくてエールを送りたいと思いました。

表現でこだわられたところやおすすめのシーンを教えてください。

こだわったのは、くまくんが生きる場所としての背景の空気感と立地の必然、でしょうか。お話自体はフィクションですが、自然の話なので、バックボーンとしての自然科学からはみださないように描いて説得力を出したいと思いました。たとえば、ササダケは通称ネマガリダケとして東北あたりではメジャーな食べ物ですが、おいしいから熊も人も大好きなんです。だからこそ、その生態環境ぎりぎりまで鉢合わせもするわけです。そうそう、山でキイチゴ摘みをするときは気をつけた方がいいですよ。熊も大好きですから。大声でうたいながら摘むといいかもしれません。

おじさんのおまのまからは、くまくんに出会う前に収穫してきたであろうたくさんのササダケが飛び出しています。



P.14-15

おすすめシーンは全部です! 山の冷気や春夏の山の香りを意識して、ツキノワグマの黒がメリハリになるよう筆を走らせました。くまくんたちは、目の色を変えて、胸にある月輪模様の有無で個体の違いを出しています。あとは満天の星空のシーンかな。老眼が進んでいるのでとにかく大変でしたね(笑)。ほかの作品ではおなじみのお遊びですが、夜空のどこかにUFOが隠れているので、ぜひ探してみてください。



P.22-23

満天の星空のどこかにUFOが! ヒントは黄色ですよ。

絵本を作るときに大事にされていることを教えてください。

自然環境のリアリティーですね。作品にもさりげなく登場していますが、ヤマドリやカケス、クマタカ、オオルリ、テンヤオオムラサキなどの生き物はもちろん、ブナやミズナラといった木もきちんと確認して描くようにしています。

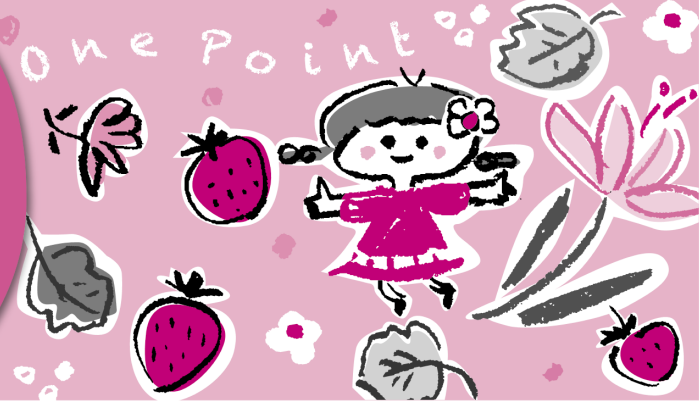
読者の先生方へメッセージをお願いします。

絵本を眺めながら、くまくんの棲む豊かな山の空気と深呼吸してください。今、この星の上で、みんながいっしょに生きているを感じながら。

村上康成 (むらかみ・やすなり)

1955年岐阜県生まれ。創作絵本、ワイルド・ライフ・アートなどで独自の世界を展開する自然派アーティスト。ポロニャ国際児童図書展グラフィック賞、BIB世界絵本原画コンペティション金牌、日本絵本賞大賞を受賞。作品に『ピンク、べっこん』『黄色い亀』(以上、徳間書店)、『ピーマン村』シリーズ(童心社)、『まってる。』(講談社)、『さかなつりにいこう!』(理論社)、『リュックをしょって』(絵本塾出版)、『くじらのバス』、『石のきもち』、『しろいちょうちがとんでるよ!』、『999ひきのきょうたい!』シリーズ(以上、ひさかたチャイルド)など多数ある。石垣島に絵本ギャラリーがある。

読み聞かせワンポイントアドバイス



徳永 満理
(とくなが・まり)

福岡県出身。子どもの発達をふまえていねいな保育のなかで50年読み聞かせの実践を重ねる。社会福祉法人おさなご保育園園長を経て、現在は同園の理事長。元兵庫大学短期大学部専任講師、あかし保育絵本士養成講座講師、兵庫子どもと絵本の会顧問。著書に『絵本と子どもが会ったら』（鈴木出版）、『絵本でひろがる子どものえがお』（高山智津子氏と共著）『よくわかる0～5歳児の絵本読み聞かせ』（以上、チャイルド本社）、『赤ちゃんにどんな絵本を読もうかな』（かもがわ出版）、絵本に『はるちゃんのぼんぼりぼうし』（ひさかたチャイルド）、『ゆうちゃん』シリーズ9冊（アリス館）などがある。



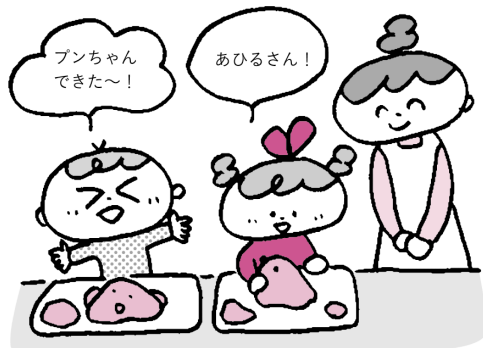
もこちゃんチャイルド

ねんどママ おさんぽ いくよ

作・絵／ゆきのゆみこ ヒダオサム

こねこね、むぎゅむぎゅしながら、なんでも作れる粘土遊びが大好きな子どもたち。そんな子どもたちの想像力を刺激するお話です。明るく、テンポよく読んであげましょう。

ブンちゃんとママがお散歩に出かけます。出会ったのはあひるの親子。かわいい始まりです。楽しさを込めて読みながら、絵をじっくり見せてあげましょう。ブンちゃんの変身場面は一番の見所です。1ポーズずつ指さしながら変身の様子を見せ、擬音語に力を込めて読みましょう。変身したブンちゃんとあひるたちのお散歩は明るく、軽やかに読み、水に飛び込んでいく場面は、緊迫感を込めて読みましょう。最後は、よかったねの気持ちで、絵をゆっくり見せて終わります。



読み終わったら、実際に粘土でブンちゃんやあひるたちを作って遊んでみるのもよいですね。外にお散歩に出かけてみるのも楽しいでしょう。



チャイルドブックアップル

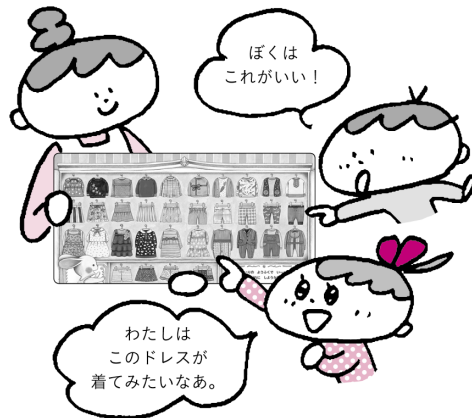
ねえ、みて！

作・絵／小林ゆき子

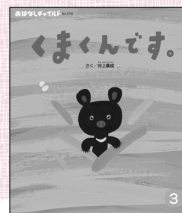
自分の好きなものを自分で選ぶことは、子どもたちの究極の願いです。ゆっくり絵を見せながら読んであげましょう。

最初の場面は、うさぎのフウラのお気に入りの洋服です。ずらりと並んだすてきな洋服に、見ている子どもたちも思わず手を伸ばしてくるかもしれません。そのときは、「おしまいまで読んでから選んでもらうね」などと告げるとよいですね。子どもたちは選びたい気持ちを我慢して、すてきな絵とお話をゆっくり楽しむことしましょう。

読み終わったら、洋服の場面、クッキーの場面、傘の場面…と一場面ずつ開いて、子どもたち全員にそれぞれが好きなものを選ばせてあげましょう。時間がかかるかもしれませんが、一人ひとりの読後



の満足感を大切にしましょう。自分の持ち物で気に入りの物を見せ合いっこしてもよいですね。



おはなしチャイルド

くまくんです。

作／村上康成

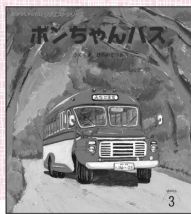
動植物の生態に興味関心が膨らんでいる子どもたちの心に、どんなふうに届くのか楽しみです。くまくんの気持ちの変化に寄り添いながら、明るく読んであげましょう。

春になり、巣穴から出たくまの親子は食べ物を求めて出かけます。明るい始まりです。弾むように読みましょう。ふと、くまくんはお母さんがいないことに気づきます。お母さんを探し、食べ物を探し、知らない生き物に出会い…、ハラハラドキドキの連続です。くまくんの不安な気持ちにメリハリをつけましょう。くまの友達に出会ったくまくんは、元気をもらってひとり歩きを始めます。明るく、弾むように読んであげましょう。

読み終わったら、お母さんから離れてひとり歩

きを始めたくまくんの気持ちについて話し合いましょう。また、冬ごもりをする動物などについて話し合ったり、図鑑で調べたりしてみましょ。





おはなしチャイルドリクエストシリーズ

ボンちゃんバス

作・絵／ひらのてつお

不思議なお話が大好きな子どもたち。バスのボンちゃんに乗ったつもりになって、あり得ない世界をおもしろがることでしょ。好奇心をそそる絵にも注目できるように見せてあげましょ。

タイトルと表紙の絵が興味を引きま。ゆっくり見せて、どんなお話か想像を膨らませましょ。乗客がいなくなったボンちゃんバスは、降り出した雨の中トンネルをくぐりま。不思議な世界の始まりです。バス停で待っていた不思議なお客さんたちを乗せて、ボンちゃんバスは走りま。ブルンブルンと走る音は、心優しい運転手の田中さんの気持ちを語っているように聞こえま。テンポやリズムにメリハリをつけて、臨場感を出しましょ。

読み終わったら、もう一度初めから絵をゆっくり見せながら振り返りましょ。絵から新たな発見があり、不思議な世界のおもしろさを満喫することましょ。



チャイルドブックアップル 傑作選

かばの もっこりと ちいさな ポコプリン

作／おおはしえみこ 絵／いけずみひろこ

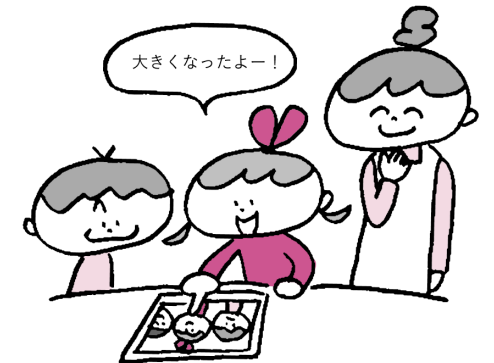
いきいきとしたもっこの絵がとてもかわいのお話です。明るく、弾んで読んであげましょ。

表紙はもっこりが写真をうっとり眺めている絵です。ゆっくり見せて、もっこの気持ちを想像しながらおしゃべりしてみてもよいです。

もっこりは村の動物たちに、いとこのポコプリンが来ると写真を見せて回りま。親切で優しい動物たちとの会話がすてきです。弾んで読みましょ。「おにいちゃん」とやってきたポコプリンは…。驚きとうれしさが交錯するもっこの気持ちを、平たんにならないように、メリハリをつけて読みましょ。

読み終わったら、もっこりとポコプリンの写真をもう一度よく見せてから、大きくなった2人の今

のことをおしゃべりしてみてもよいです。子どもたちの小さいときと今の写真をくらべてみたりするのも楽しいです。



はじめましてのえほん

こんな かお できる？

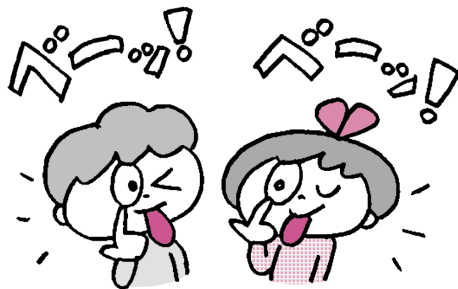
作・絵／磯みゆき

小さい子どもたちは、泣いたり、笑ったり、怒ったりすることで、周りの大人たちとコミュニケーションをとります。いろいろな顔をしながら読んであげましょ。

表紙の動物たちを1人ずつ指さして、名前を聞いてみましょ。得意げに答えてくれる子もいることましょ。とらさんの「ペーッ！」で始まりま。次のページはそれをまねっこした仲間たちの「ペーッ！」です。読み手も舌を出して見せて、子どもたちにまねっこを促しましょ。次は「ムギューッ」、その次は「ビョーン」と、おもしろい顔の連続です。みんなでまねっこをしながら読み進めましょ。「ガガガオ ガオーッ」はちょっと怖い顔で演出し、最後はにっこりにここ、飛び

きりうれしい笑顔で終わりましょ。

読み終わったら、もう一度いろいろな顔をして、友達同士で見せ合いっこをしてみましょ。



世界の昔話名作選

シンデレラ

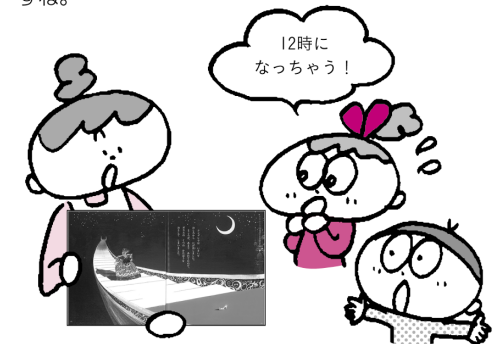
文／大石 真
絵／鈴木 博

カッコいいヒーローやヒロインに憧れ、変身して遊ぶことが大好きな子どもたち。きらびやかに豪華なお話と絵に夢中になることましょ。不思議さと華やかさが伝わるように読みましょ。

表紙はシンデレラが大きく描かれ、めくった1ページ目にはガラスの靴が…。この展開に子どもたちは、すっかりとりこになることましょ。絵をゆっくり見せてあげましょ。シンデレラは、意地悪な継母とその娘たちと暮しています。かわいそうな始まりです。静かに読み始めましょ。娘たちがお城のダンスの会に招かれて出かけると、不思議なことが…。シンデレラが、女神に魔法をかけてもらいお城に向かう展開にワクワク感が募ります。心躍るように読みましょ。12時になる

と魔法が解けるといスリリングな展開も魅力です。メリハリをつけましょ。

読み終わったら、劇遊びに発展させてもよいです。





チャイルドブックを活用するときの週案・日案文例



チャイルドブック

かんがえる

文例執筆 / 山本秀子 (東京家政大学准教授)

- 週案例**
- ・保育絵本を活用し、最先端の乗り物に興味をもつ。
 - ・保育絵本を活用し、数への関心を高める。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
特集 社会クイズ 人環言表 ③⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 最先端の乗り物について知ることで、科学技術への興味をもつとともに、持続可能な社会について考えるきっかけにする。 ● 自分が乗ってみたい乗り物を身近な素材や絵画で表現し、その乗り物について特徴を発表する機会を作る。
小学校へつながる生活 健人環言 ①②③④⑥⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 出かける前にどのような準備をしておくかよいかを考え、就学に向けて事前準備への意識を高める。 ● なにに向けてどのような準備が必要かをさまざまな場面でクラスで確認し、実践を繰り返すことで、準備の必要性を実感できるような保育を計画する。
身の回りのなぜなぜ 人環言 ②③⑤⑥⑧	<ul style="list-style-type: none"> ● 街にある多言語表記の物について知り、世界にはさまざまな言語があることや、どんな国の人でも便利に暮らせる工夫があることに気づく。 ● 身の回りや、発見してわかった喜びや、疑問に思ったことを子どもたち自らが調べる大切さを日々の園生活で取り入れる。
お話 数遊び 人環言 ②③⑤⑥⑧⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 数遊びのテーマをお話を通しておさらいし、小学校入学に向けて数への関心を高める。 ● 子どもたちの考えを出し合って問題を解決することで、思考と実践とを組み合わせ気づける環境を作る。
言葉遊び 人環言表 ②③⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● しかけで遊びながらさまざまな組み合わせの文章を作り、「どこで」「だれが」「なにをした」という文章の構成に親しむ。 ● 子どもたち一人ひとりが「どこで」「だれが」「なにをした」に沿って、相手に理解される説明ができるような機会を保育でも取り入れ、経験を重ねる。

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

チャイルドブック

みんなともだち

- 週案例**
- ・保育絵本を活用して、早春の季節感を味わう。
 - ・保育絵本を活用して、ひな祭りの行事食に興味をもつ。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
特集 環言 ⑥⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 早春に見られる動植物の目覚めや芽吹きを観察して、春の訪れを感じる。 ● 春になると見られなくなる風景などにも興味を向け、気づいたことをクラスで出し合ってみることで冬と春の変化に関心をもつ。
シール 人言環表 ③⑥⑦⑧⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● ○△□の形を組み合わせるおもしろさを感じる。 ● 花壇作りのシール遊びを発展させ、この時期に植えられる植物を調べてクラスの花壇を作り、実際に育てて成長を見守る。
食育 健環言 ①⑤⑥⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● ひな祭りの日に食べる物とその色の意味を知ること、行事食への関心を高める。 ● ひし餅やひなあられがどのような食材でできているか調べ、味わって感謝して食べる。
生活 人環言表 ②③⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 友達の特技や努力に目を向けるきっかけにして、互いに長所を認め合ううれしさを感じる。 ● 個々の長所を認め合った上で、一人では達成できないことができる集団生活のよさを感じ合える環境作りや声かけをする。
お話 健人環言表 ①②③⑤⑥⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘレン・ケラーの生涯を知り、諦めない心の大切さに気づききっかけにする。 ● 誰にでも得意と苦手があることを話し、協力し助け合うことで克服する大切さを感じる。

5領域

健康 人間関係
環境 言葉 表現

10の姿

① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性
⑦ 自然との関わり・生命尊重

④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え
⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。
あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

チャイルドブック ジュニア

文例執筆 / 山本秀子（東京家政大学准教授）

日案例

- 週案例**
- ・保育絵本を活用し、身近な植物に興味をもつ。
 - ・保育絵本を活用し、進級への期待感をもつ。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
自然 人環言表 ②③⑥⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● たんぽぽがいろいろな場所で咲くことを知り、身近な植物への興味・関心を深める。 ● 「たんぽぽがどこに・いくつ咲いていたか」をグループで探すゲームにして楽しみながら関心を高める。
シール 環言表 ⑥⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 春の花壇を想像しながら、色塗りやシール遊びを楽しむ。 ● 園庭や公園の花壇にどのような花が咲いているか、また咲こうとしているのかを探し、花壇の地図を模造紙などに記録して変化を描き示すことで、植物の成長を知る。
食育 健人環言表 ①③⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● ちらしずし作りのごっこ遊びを楽しみ、食事への意欲を高める。 ● 家庭や調理師の協力を得ながら、ちらしずし作りや食べる体験をする。
お話 健環言表 ①⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● ひな祭りにちなんだお話を楽しみ、日本の伝統行事に興味や親しみをもつきっかけにする。 ● スキップの軽やかなリズムを体を動かしながら感じ、楽しさを体感する。
生活 健人環言表 ①②③④⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 一年間の思い出やできるようになったことを話し合い、進級への期待につなげる。 ● どのようなことができるようになったかを思い出して、言葉で発表し合い、認め合う。



日案例

- 週案例**
- ・保育絵本を活用して、ひな祭りの歌を楽しむ。
 - ・保育絵本を活用して、春の花に興味をもち、季節感を味わう。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
歌 健人言表 ①⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● ひな祭りの歌をうたいながらひな人形への興味を広げ、行事を楽しむきっかけにする。 ● ひな祭りの由来を伝え、健康で過ごせることに感謝の気持ちをもつ。
シール 言表 ⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● ひな人形たちが空の散歩に出かけたらどんなふうになるのか、想像を膨らませてシール遊びを楽しむ。 ● 空の散歩で、ひな人形をどこに連れて行ってあげたいかを言葉でも表現する。
お話 人環言表 ③⑥⑧⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 1、2、3 と唱えることで、お話の世界に参加するとともに数にも興味をもつきっかけにする。 ● 最後のページで手品に出てきた生き物がどこにいるか、友達と探す楽しさを味わい、さらに、その数をかぞえてみる。
環境 人環言 ⑤⑥⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 春の花を知ることで、身近な自然への興味を引き出す。 ● 身近な植物の変化に興味・関心をもてるように、保育者が、日々の保育のなかで声をかけることを大切にする。
生活 健人環言表 ①②③④⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● ごりくんたちの姿を見ることで、自分たちの「できるようになったこと」を振り返り、成長を感じる。 ● 一人ひとり、なにができるようになったかを表現し、成長を喜び合う。 ● 進級に向けて、できたことと今後できるようにしたいことを聞き、保護者と共有するとともに、保育者が成長記録に残す。

5領域

健健康 人人間関係
環環境 言言葉 表表現

10の姿

① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性 ④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え
 ⑦ 自然との関わり・生命尊重 ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現

